

生徒指導部

部長： 松岡 副部長：山本

(1) 今年度の目標

規範意識を持ち、自主的・自律的な態度で学校生活を送れる生徒を育てる。

(2) 主な取り組みの計画

- ①週番活動を行い、環境の整備と基本的な生活態度を育成する。
- ②全校集会で講話を行い、自主的・自律的な生活態度を育成する。
- ③服装検査を行い、服装の整備を図る。
- ④校門指導を行い、挨拶の励行、服装の整備を図る。
- ⑤講演会（自転車関係、薬物乱用防止、携帯電話関係）を行い、規範意識の向上を図る。
- ⑥交通指導を行い、交通安全の意識向上を図り交通事故を防止する。
- ⑦遅刻生徒に対して、早朝登校指導を行い、基本的生活習慣を育てる。

(3) 成果

- ①しっかりと活動できているクラスが増えてきたが、クラスによってはほとんど活動できていない。
- ②多くの生徒がしっかりと話を聞けていたが、中には下を向いている生徒がいた。
- ③名札や校章等のつけ忘れの生徒がいたが、担任や生徒指導部の学年担当の事後指導ですぐに改善されていた。
- ④挨拶ができるようになった生徒が増えてきた。服装もよくなってきた。
- ⑤情報セキュリティ講座を今年は全学年を対象に行ったが、1年生で問題がおこってしまった。
- ⑥年度当初より指導してきた、自転車の左側通行が守れるようになった。学校近辺だけでなく少し離れた交差点で指導を行い、交通マナーも良くなってきた。
- ⑦1, 2年生の遅刻の数は少なくなった。3年生の決まった生徒が繰り返している。

(4) 課題と次年度以降の改善策

- ①生徒指導部が中心となり全クラスの意識を高めるために、週番交代会に全校週番だけでなく全クラスの学級長(1名)を集合させて全校で意識を高めていく。担任への呼びかけをきっちりとしていく。
- ②集会の最初に全体に注意をする。聞く態度の悪い生徒に生徒指導部が中心となり担任と連携し指導を行う。
- ③段階的な指導に成果があったので、継続し定着させていく。また全職員で指導できるように協力をよびかけていくいく。
- ④挨拶がしっかりとできるように職員が積極的に声をかけていく。各担当箇所各学年団の担当がいたほうが、生徒の情報を掴めて指導しやすいので、できる限りその方向で割り当てを決める。
- ⑤携帯電話・スマートホンの使用や情報モラルについて保護者へのアプローチを考えていきたいと思う。
- ⑥校門指導時に各箇所1名は付近の交通指導を行う。LHRで危険マップ等を使用して交通ホームルームを行う。警察と連携して朝の交通指導を検討する。
- ⑦基本的生活習慣を身につけさせるために、粘り強く指導していく。繰り返す生徒については担任と連携し、保護者の協力も得て指導していく。